

MEIKAI UNIVERSITY URAYASU CAMPUS

ALUMNI

ASSOCIATION

MEIKAI UNIVERSITY

特集

【お笑い芸人】

はんにゃ 川島 of レジェンドさんの
勝手に /

ホームカミングデー

明海TOPICS

夢プロジェクトで叶えるシェアサイクル
砂浜を舞台に世界と競い合った2人
フットサル界で輝く注目株が登場!

勝手に

お笑い
芸人

はんにや 川島of

レジェンドさんの

Home Coming Day

[ホームカミングデー]

毎年、明海祭の時期に実施される“ホームカミングデー”は卒業生が母校を訪れ、学生気分を味わえる特別な1日だが、本日は同窓生でありお笑いコンビ『はんにや』の川島さんが訪れ、いわば“勝手にホームカミングデー”を決行。その様子に密着した。

久々に来たら
色々面白くなる!

Special Issue | Home Coming Day

MEIKAI UNIVERSITY

Profile はんにや

川島of
レジェンドさん

NSC東京校の10期生。2005年にお笑いコンビ『はんにや』を結成。ライブやテレビのバラエティー番組、舞台を中心に活動する一方で多数の資格を取得。だしソムリエ1級を持ち、出汁パックのプロデュースや出汁レシビの開発も行う



Spot 1

気持ちいいー♪

フカフカの芝生でゴロン

“勝手にホームカミングデー”は、校舎の前に広がる青々とした芝生広場からスタート。天気も良く最高の昼寝日和だ。「フカフカ〜！気持ちいい〜。このまま寝てしまいたい」と川島さん



旨い！旨い！



Spot 2

食堂の名物メニューに舌鼓

味、ボリューム、値段と三拍子が揃う学食を訪問。豚骨ラーメン360円。きつねうどん290円という良心的な価格設定に驚きつつ、名物メニュー「パワーランチ（小鉢・味噌汁付き）520円」を選択。「おお！美味しい」

4年ぶりの母校訪問は驚きと発見の連続

「久しぶりだなあ！ わあ、芝生が綺麗になってるー！」。小春日の11月17日、明海大学浦安キャンパスに降り立ち、広場に寝転がったのはお笑いコンビ『ほんにゃ』の川島ofレジェンドさん。不動産学部不動産学科を2004年に卒業した同窓生が久々に母校・明海大学を訪ねてくれた。

「前回来たのは4年前ですよ。第31回明海祭に呼んでいただいたんです。母校に錦を飾るじゃないけどあの時は本当に嬉しかった！」ちなみに芸名が川島さんから

『川島ofレジェンド』さんが変わったのは2020年。対戦型オンラインゲーム『League of Legends』で上位階級であるゴールドプレイヤーを目指すというミッションに挑戦。期間中は芸名を変えたいという条件があるため改名したという。

芸能界きってのゲーム好きで、eスポーツに特化した学校『eスポーツ高等学院』のアンバサダーも務めている。

「人がやらないことに挑戦するのが好きなんです。不動産学部を選んだのも日本で唯一の学部だった

から面白そうだなと思って。ホスピタリティ・ツーリズム学部とか、独自の学部があるのが明海大学らしいところですよ。eスポーツ学部を作ってくれないかな。僕はアンバサダーやりますよ（笑）」

思い出深い場所を巡ると学生気分に戻ることができる。これも母校を訪問する醍醐味だろう。川島さんは丘に登っていき、呟いた。「ここで風揚げをしたんですよ。懐かしいなあ。『風揚げがしたい』と言ったら仲間がノってきてくれて八枚がこの上空を舞いました。風が通るこの広場は風揚げにすごくいいロケーションなんですよ。良い気分転換になるので、在学生におすすめしたいですね」

変わらぬ景色がある一方で、ドラスティックに進化する場所もある。言語教育を実践する場である『MLACC

（明海多言語コミュニケーション）は、川島さんの在籍時はなかつた施設。英語のみで会話することが定められている英語ゾ

ーンで、ネイティブ教員とのおしゃべりを楽しみ、教員を目指す学生のサポートを行う施設『METIS Commons（教職課程センター・地域学校教育センター）』では、勉強に励む学生に「頑張ってる」とエールを送った。

『MLACC』は語学を習得したい人にとっては最高の施設ですね。学生が真面目に勉強に取り組んでいる様子にも感心しました。僕がいた時より皆しっかりしている！今改めて思うのは勉強って結構楽しいということ。学生時代、もっ

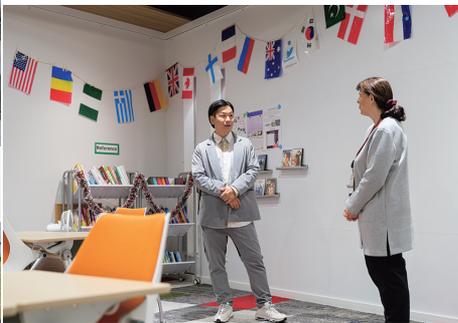


この席、懐かしいなあ

Spot 3

懐かしき学び舎を巡ると……

上／300人超が収容できる2102講義室。いつも座っていた席に腰かける川島さん。「“家族法”の授業は面白かった。もっとなんと勉強すればよかったなあ」。右／『MLACC』ではパトリツィア・ハヤシ教授と英語で会話。左／在学時、風揚げをした“丘の上”で思い出に浸る



変わらない風景と、進化する姿が 今の自分の背中を押す



すごいことになってますね

Spot 4

中城不動産学部長を突撃訪問!

思いがけず叶った中城不動産学部長との対談で、国家資格・宅地建物取引士の取得という不動産学部らしい進級要件を聞き「今日、一番驚いた」と川島さん。「合格率が16%前後という難関だからこそ、取得するメリットは大きい。学生にとってはプレッシャーかもしれないが、今だからこそできることですね。」「入学後にしっかり学べるというのが、明海大学が掲げる方針」と中城不動産学部長

と真面目に取り組めばよかつたなあ」とは言え在学時代は良い仲間にも恵まれ、楽しいことが多かったと川島さんは語る。「不動産学部の卒業生とは今も仲がいいですね。新型コロナウイルス感染症のせいで最近では集まっていますが、以前は年に1、2回は集まっていた。不動産関係の仕事に就いている人もいれば、全く別業態の会社を経営している人も。人それぞれで面白いですよ」

「教授陣が控える研究室の前を通りかかると、中城康彦不動産学部長が温かく出迎えてくれた。」「本日はようこそお越しくださいました。川島さんは、2003年度の卒業生なんですね。現在、不動産学部では3年次への進級要件の一部として「宅地建物取引士」の資格取得を定めています。つまり2年生までに資格を取得しないと基

本的に進級できません。そのためのカリキュラムを充実させているので、卒業までにはほとんどの学生が合格します」と語る中城不動産学部長の言葉に驚く川島さん。「えっ！それはすごい。実は3年の時に宅建を取得しようとして断念したんです。僕がいた時代にもそのカリキュラムをやっていたかった！」

「資格マニア」でもある川島さんは、だしソムリエ級、食育アドバイザー、離乳食インストラクターなどを取得している。「いろんな資格を持っていますが、国家資格はやはり別格。たとえ不動産業界以外の職に就いたとしても、専門知識を持つことは強みになりますよ。今の学生が羨ましい！」。さらに足を伸ばし、メディアセンターにある図書館とその屋上にある養蜂場を見学。これは、学生が自らの夢を大学へブレイン・ツーリズム学部の授業として採択されたものだ。「自分達の力で、ゼロから企画す



Spot 5

浦安の新名物が生まれる場所

メディアセンターの屋上にはミツバチが飛び交う養蜂場が広がる。これは「一次産業がない浦安に名物を作りたい」という学生の想いからはじまった「浦安ハニープロジェクト」が形になったもの。今年、ハチミツは明海祭で販売された（参考価格650円）



※浦安市のふるさと納税返礼品に出品しています

Spot 6

グラウンドで思い出を振り返る

体育系クラブの部員が練習に励む、人工芝が敷かれたグラウンド。川島さんにとっては大好きだった体育の授業の思い出がある場所だ。「ゴルフやサッカーの授業は楽しかったな。なんだか、学生時代に戻って思いっきり走りたくなってきた(笑)」

なんか、落ち着くなあ〜



川島さんは、何故、そしていつから芸人を目指していたのだろうか？

「うーん。実は幼い頃から芸能界に憧れていたんですよね。でも芸能界で成功する人なんて一握りだし、現実的ではないと自分の夢に蓋をしていたんです。4年生の時に普通に就職活動もして、不動産関係の会社に内定をもらっていました。そして、そこに行くつもりだったんです」

しかし、その内定を蹴ってNSC(吉本総合芸能学院)に入った。そのきっかけと

なったのは、実のお姉さんのある行動だった。「当時、姉は引きこもっていて摂食障害のような状態でした。でもある日突然、『本当は歌手になるのが夢だった』と、歌の専門学校に通いだしたんです。その学校の文化祭で姉が歌うというので母親と一緒に見に行ったら、トゲトゲが付いた衣装を着て、舞台上でシャウトしている姉がいたんですよ。輝いていましたね」
——夢の力ってすごい。夢に向かって勇気を出したねえちゃんカッコいい。と思った川島さんは、自らも一歩を踏み出すことに決め、大学卒業後NSCに入った。

「好きなことを仕事にするか、求められる仕事を頑張るか。人生において、どちらが正解とかはないんですよ。どちらを選んでも、生きていく限りしんどいことはあるんです。好きな仕事でも壁にぶつかり、それを乗り越えなければいけない時が来ますから。でも、僕は好きなことなら長く続けられると思ったんです」

今、大学時代に思い描いた“なりたいじぶん”になれているか？ という問いに、川島さんはこう答えた。

「ここまで皆さんに知っていただけの芸人になれるなんて、在学当時は思ってもいませんでした。なんとなく『このまま諦めたくないな』という感じで……。でも4年間という“考える時間”があったから、芸人になるという選択ができたとも思います。今にして思うと貴重な時間でした」

最後に川島さんは、在学生に向けてこんなひと言を贈ってくれた。「自分がやりたいことを探してみてほしい。よく『やりたいことが見つからない』という人がいるけど、それを見つけるために、大学の4年間があると思う。勉強して、何かに挑戦して、世の中を知って、生きていく方向を見つけてほしいですね」

同窓会が寄贈した大型デジタルサイネージは、学内の様々な情報を発信できる。美しい青色に大学のコンセプト“なりたいじぶん大学”の文字が映える



なりたいじぶん

って、なんだ？

Column

お笑い芸人になるという夢を叶え、多方面で活躍する川島さんが一歩を踏み出すことができたのは、大学時代の4年間にあったと語る。“なりたいじぶん”を見つけるために、“なりたいじぶん”になるためにどんな想いを抱きながら、学生生活を送っていたのだろうか？

（浦安キャンパス同窓会 ウェブサイトがリニューアル！）



2022年冬にリニューアルしたウェブサイトはこれまで以上に見やすいレイアウトとなり、スマートフォンでの閲覧にも適した仕様になりました。同窓会の各種情報やニュース、浦安キャンパスのトピックを発信していきます。ぜひ、新しくなったウェブサイトをご覧ください

「メイカイLINK」に乞うご期待

新 たなウェブサイトの目玉コンテンツが「メイカイLINK」です。明海大学の同窓生はさまざまな職業に就いています。そんな皆さんを繋ぐのが「メイカイLINK」です。ウェブサイトでは職種や卒業年度、学部などの条件で検索できるデータを掲載しています。いわば、同窓生のタウンページです。お店や事業をされている方は、ぜひ登録のうえ、ご活用ください。新たなビジネスやコミュニティが生まれるきっかけとなる「メイカイLINK」に今後もご期待ください。

最新情報をぜひチェック！

<https://www.meikai.com>

ARTICLES

記事を読む



TOPICS

今年度の夢プロジェクト 大学が拠点となる シェアサイクル

プロジェクトを推進する3人。手前から直井乃々美さん（英米語学科3年生）、代表の湯島康太さん（日本語学科3年生）、長倉亜里沙さん（英米語学科3年生）

「教師を目指していることもあり、浦安市内の様々な施設で、中学生の学習支援や子ども食堂スタッフなどのボランティア活動をしています。どこも浦安キャンパスからは決して遠くない場所なのですが、移動時間にストレスを感じていました。自転車なら10分なのにな、と。こう語るの、浦安キャンパスを拠点としたシェアサイクルサービスを発案した団体『PVPF』代表の湯島さん。メンバーの直井さんは、こう続けます。「新浦安駅からキャンパス、そして浦安市内各所への移動は徒歩またはバスに限られますよね。そこに自転車という選択肢があったらどうでしょう。それも使いたい時にだけ使えるシェアサイクルとしたら。そう考えると、私はワクワクしました」。そういった在

学生のリアルな想いから生まれたのが『明海シェアサイクル』。さらに「電車・徒歩通学の場合、行動範囲が限られてくるんですね。そんな中、このシェアサイクルを利用することにより、自転車だからこそ見えてくる魅力的な場所や風景に出会えるのも楽しみになるはず。そう感じてくれる人がもっと増えたら嬉しいです」と長倉さんは微笑みます。こうして立ち上がった構想は具体的な計画となり見事、2022年度の夢プロジェクトに認定されました。3人の夢は在学生の利便性向上だけではなく、浦安市の未来も見据えています。浦安市の街に明海大学のシェアサイクルが駆け巡り、地元である浦安がもっと活性化する日は、すぐそこです。



夢プロジェクトに挑戦するために結成されたチームは、同窓会関係者等で構成される審査委員を前にプレゼンテーションを展開。3人の夢プロジェクトの概要、そして展望として浦安市との連携を堂々と語った

TOPICS 03

フットサル界で輝く 注目株が登場!



写真提供:バルドラール浦安

新潟県出身ながら、浦安を第二の故郷と明言する長坂さん。2021年にはFリーグ（日本フットサルリーグ）の得点王に輝いた

明

海大学のOBを中心に設立され、明海大学がオフィシャルスポンサーを務めるフットサルチーム「バルドラール浦安」。このチームに所属する長坂拓海さんも明海大学を巣立った同窓生（2016年度経済学部卒）。長坂選手は「日本代表としてAFCフットサルアジアカップクウェート2022に出場できたのも、プロへの道を拓いた明海大学、そして浦安という地域との出会いがあったからです。次の目標はワールドカップです。フットサルを通じて浦安を世界へ広めたいです!」と語った。

STUDENTS TOPICS

大

学ビーチバレーの頂点を決める世界大会「FISU World University Championships Beach Volleyball」に、明海大学体育会女子バレーボール部所属の菊地&衣笠ペアが日本代表に選ばれ、世界を相手に健闘した。結果は32チーム中19位。しかし、強豪国アメリカを相手にフルセットに持ち込むなど、世界で戦える手応えを感じたと2人は語る。バレーボールの選手としては小柄ながらも、巧みなトスや相手の盲点をつくスパイクで長身の海外選手を翻弄する場面も多々あったという。ビーチ

バレー専用のコートがないため、この夏は社会人チームに混ざり練習に励んできた。「この練習方法でいいのか?」と悩むこともありましたが、この大会で成長を実感できた」と衣笠さん。「ビーチバレーは2人で戦略を考えて実行できる面白さがあります。ビーチインドアバレーも頑張りたい」と菊地さん。

砂浜を舞台に 世界と競い合った2人

TOPICS 02



ビーチバレー界のホープとして注目を集める、衣笠乃愛さん（左・日本語学科3年生）と菊地真結さん（右・日本語学科3年生）

同窓生の皆さん、今年度より外国語学部長を拝命しております、中川仁です。

私もかつては、この学び舎で学んだ学生であり、同窓生の一人でもあります。浦安キャンパスの設置と同時に外国語学部中国語学科に入学し、多くの先生方からの学恩を受けてまいりました。

とくに入学当初の1・2年次では、中国語の学修に力点を置き、それ以外にも一般教養の科目も幅広く学びました。そして3・4年次ではゼミ教育（外書講読）が始まり、毎週金曜日の4時限目は今でも忘れられないゼミの時間でした。当時の私は遊佐昇先生のゼミに所属し、『遊仙窟』についての古い文献を読解し、それを調べるために『新字源』という漢字辞書とは離れたくても離れられない存在になりました。このように取り組んだことは、生まれて初めての経験であり、ゼミ生の友人も同じ気持ちであったと思います。しかし当時を振り返ってみると、懐かしく、「あの時は勉強した」という気持ちがいまもあてきまします。

同窓生の皆さんにも、



恩師からの便り

外国語学部 学部長

中川 仁

Hitoshi Nakagawa

私と同世代の方々には、そのような思いがあったのではないかとおぼやかれます。当時の大学生や大学の存在は、なんとなく緩やかな時代の流れのなかで、穏やかな時間が過ぎていった状態だったのかもしれない。

しかし現状の大学は、「大学の使命」として、システム化された教育課程において、それを学ばなければならぬ時代へと変化しています。外国語学部でも、1年次から4年次まで、語学に力点を置き、基礎専門科目を学修していきます。そして同時にゼミ教育を充実させていくことを応援しています。

ることによって、キャリア教育にも力を入れ、就職活動に繋がります。このような教育課程における学びは、グローバル社会を生き抜くために学ぶものであり、本学の卒業生として社会でよりよく活躍するための方策となります。明海大学は、「なりたい自分」を応援する大学であり、「夢」に向かって、それを表現するために努力を惜しまない学生をサポートする大学です。

同窓生の皆さんにおかれましても、社会のあらゆる場面で活躍していくことを応援しています。

浦安キャンパス同窓会 会計報告

セキュリティの関係上、
ホームページには公開いたしません

体育会 REPORT

※大会の予定や結果の詳細は体育会ウェブサイト(<http://meikai-sports.jp>)でご確認ください。

サッカー部

Football



千葉県大学サッカーリーグ 1部リーグ……………**3位**

ヨット部

Yacht



2022年関東学生女子ヨット春季選手権大会…総合**4位**
2022年関東学生春季選手権大会……………総合**6位**
第89回関東学生ヨット選手権大会……………総合**10位**

空手道部

Karate



第66回全日本大学空手道選手権大会
男子団体組手……………**3位**
第77回国民体育大会「いちご一会とちぎ国体2022」
青年男子組手個人重量級……………**4位**
第33回関東学生空手道体重別選手権大会
男子個人組手競技-75kg級……………**準優勝**

女子硬式庭球部

Women's Tennis



関東大学テニスリーグ……………**5部**

陸上競技部

Track & Field



第101回関東学生陸上競技対校選手権大会
男子2部砲丸投……………**優勝**
男子2部ハンマー投……………**優勝**
第33回関東学生新人陸上競技選手権大会兼
関東学生リレー競技会 女子走幅跳……………**優勝**

女子バレーボール部

Women's Volleyball



第69回秩父宮妃関杯全日本バレーボール
大学女子選手権大会ミキブルーン
スーパーカレッジバレー2022……………**ベスト16**
令和4年度天皇杯・皇后杯全日本バレーボール
選手権大会 千葉県ラウンド……………**優勝**
2022FISU ビーチバレーボール
世界大学選手権大会……………**出場**

コミュニティサポート事業

同窓会員同士のコミュニティ作りのお手伝いとして、補助金によるサポートを行っています。
同窓生が集まるパーティー、部やサークルのOB・OG会などのご活用ください。



サポート事例 **1**

明海大OBウィナーズ

3月末開幕の浦安市春季市民体育大会ソフトボール競技が新型コロナウイルス感染症の影響で延期となり、また大会期間も短縮されることとなった。メンバーの高齢化もあり、ここ数年は一部に昇格できない状況が続いているが、今年一番の収穫は、十数年ぶりに試合の応援に来てくれたOBと再会を果たせたことだった。



サポート事例 **2**

Swish

34年前に浦安キャンパスの1期生が中心となって立ち上げたテニスサークルが「Swish」。そのOB・OGである2～8期生までの14人が集まり、ゴルフコンペを開催した。全体的にレベルが高く、自己ベスト更新者が3人も出た。明海大学時代の思い出を共有できる場として、継続していきたい。

サポート条件

※詳しくは同窓会ウェブサイトにてご確認ください。

- 原則として会員が10人以上で集まるコミュニティであること。**
※支援対象者は、会員のみとなります。
- パーティーや活動終了後、レポートと参加者名簿を提出すること。**
※レポート・名簿ともに規程フォーマットに記入していただきます。
※レポート・写真は、HPや会報に掲載させていただくことがあります。予めご了承下さい。
※参加者名簿は、本会のプライバシーポリシーに準じて活用いたします。
- 宗教や政治活動を目的とするコミュニティは対象外となります。**
- 支援は年度内1回のみです。**
(同じ人が年2回受けることは出来ません)

2022年度 代議員会

2022年度明海大学浦安キャンパス同窓会代議員会は、対面とリモートのハイブリッド形式での開催となった。今年度も歯学部同窓会の中村睦夫会長、古川隆彦副会長、若尾樹専務理事や安井利一学長をはじめ大学関係者の方にも出席いただき、同窓会の事業報告や決算報告、新役員の選出、新年度事業計画、予算案などが審議、承認された。また、来年3月に1期生が卒業を迎える保健医療学部支部設立について説明があり、審議の結果、承認された。

編集／発行

明海大学浦安キャンパス同窓会

〒279-8550 千葉県浦安市明海1丁目

TEL 047-355-5112

FAX 047-355-2871

E-mail info@meikai.com

www.meikai.com

